

7-3 PDCAサイクルによる施策の推進

- ①「短期」・「中期」によるプロジェクト・施策を立案
 - ・1～2年で実施するプロジェクト・施策は「短期」として前期に実施します。
 - ・将来的に計画期間の3～5年を目途に実施するプロジェクト・施策は「中期」のプロジェクト・施策として位置づけます。

- ②実証を通じた多様なプロジェクトの実践・展開により、徐々に「将来の姿」に近づける
 - ・計画の実現に向けて、各種プロジェクト・施策を実証運行として同時並行的に実施します。
 - ・実証運行を通して、市民が移動しやすい環境づくりを実践します。

- ③実証運行の効果を検証し、本格実施への移行を検討
 - ・PDCAサイクル（「計画⇒実施⇒検証⇒改善」の循環検討手法）の考え方にに基づき、計画・実施・検証・改善を行います。
 - ・プロジェクト・施策の実施にあたっては、利用者数等の目標値・評価指標を設定して1～2年程度の実証運行を行い、目標や評価指標の検証を踏まえて、問題点・改善要望を把握した上で、本格運行・本格実施への移行します。目標値に達しない場合や効果が見られない場合には、事業の見直しや中止を含めた判断を行います。



図 PDCAサイクルによる施策の推進イメージ